



患者さんを
尊重した認知症ケア
を行うため、多職種間で
情報共有や意見を交わす
時間を設けています

博愛記念病院 月刊広報誌

2025.9
FREE PAPER

認知症ケアを当たり前に行います

BAD



GOOD





認知症の割合は80～84歳では22.4%、85～89歳では44.3%※と推計され、高齢者においてはありふれた疾患となっています。認知症のある方が入院すると、環境の変化から混乱してしまうことがあります。この時のケアが不適切であると不安や混乱がより大きくなり、入院生活や治療に支障をきたして患者さんのQOLは大きく低下してしまいます。

長年、高齢者医療と福祉に取り組んできた私たちは、認知症においても適切なケアを当たり前に行い、認知症のある方でも安心して入院生活が送れるよう取り組んでいます。

認知症は認知機能の障害により、認知症のない人と比べると世界の見え方が次第に大きく異なっていく病態です。こうした

特性を持つ認知症のケアにおいて最も大切なのは、一人の人として尊重し、その人の見ている世界を理解しようと努力する姿勢です。この姿勢は、認知症ケアに限らずすべてのケアに共通するものでしょう。

一人ひとりが認知症の正しい知識を持ち、適切なケアを行えるよう、当院では認知症ケアサポートのための委員会を設置。認知症のある患者さんと、患者さんに関わるスタッフへのサポートや助言、院内の認知症に対する教育を行っています。

また、「認知症世界の歩き方」研修や「ユマニチュード®」のような認知症ケアの技術を身につける研修を定期的に行っています。

※出典：令和元年6月20日厚生労働省老健局「認知症施策の総合的な推進について(参考資料)」p.5

Staff Comment



リハビリテーション部 主任
作業療法士
石坂 拳志郎 Ishizaka Kenshiro

認知症は年齢を重ねると誰にでも起こりうる疾患です。認知症の患者さんに対して、全職員が当たり前に行うことを目的に、当院では認知症ケアチームを発足しています。認知症の症状をしっかりと理解し、その方の生活歴や性格を把握。一人ひとりに合った認知症ケアを提供できるようにチームで話し合いを重ねています。また多職種と積極的に連携し、ケアの対象となる患者さんだけでなく、ケアする人も笑顔で認知症ケアを行えるように日々励んでいます。



多職種が一丸となり、患者さんの最適なケアを探ります。



HAKUAI PHOTO SNAP



医療を志す高校生が看護体験に訪れました。



院内で阿波おどりを披露。病院に響く熱いぞめき！



8月の玄関はもちろん阿波おどり！踊り浴衣を展示。



夏の院内食は冷やし中華でさっぱりと、涼をお届け。

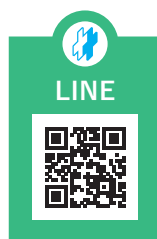


デイケア利用者さんと夏祭りで盛り上がりました！

information:

公式SNSを開設しました！

当院の医療・福祉の取り組みを、各種SNSでわかりやすくお届けしています。QRコードから「フォロー&いいね!」して、最新の投稿をぜひご覧ください。



入院の受け入れやそのほか、なんでもご相談ください！

医療法人 平成博愛会
博愛記念病院
HAKUAI MEMORIAL HOSPITAL

☎ 088-669-2166

〒770-8023 徳島県徳島市勝占町惣田9
☎ 088-669-3362 ✉ info@hakuaihp.jp

当院について
詳しくはこちら！



博愛記念病院